



吉子川

令和6年5月21日(火)
学校だより NO. 10
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条
(5月)
大きな声と笑顔であいさつ
笑顔ではじまる今日の日

◇ すてきな運動会になりました ◇

大会スローガン『紅と白150年目のすてきな運動会』のもと、5月18日(土)に創立150周年記念大運動会を開催しました。

これまでの練習の成果を発揮し、全17種目の演技を予定どおり実施しました。晴れ渡る青空に負けない清々しいさわやかな子ども達の演技はいかがでしたでしょうか? 全力で走り切る子ども達。喜びや悔しさを全身で表現する子ども達。係の仕事に一生懸命取り組む子ども達。そして、なんとと言っても一生懸命応援し、お互いを称え合う子ども達。吉子川No.8でお伝えしたとおりの、素敵な運動会になりました。子ども達一人一人が運動会を通して、しっかりと成長したことを実感する1日でした。



◇ 運動会を通して成長していくあやめっ子 ◇

頑張ることを身をもって知る

「頑張る」という言葉は安易に使われがちですが、真の意味で頑張ることを、身をもって体験できた運動会でした。「力を出し切る」ということができたからです。自分の持っている力を精一杯出す。仲間と共に知恵を出し合い、力の限りやり抜く。そんな経験が子ども達を大きく、たくましく成長させてくれたと考えています。

優しい心を耕す

真に頑張ろうとすればするほど、そこには苦しさもあります。人には弱さがあるので、そこから逃げたくなる気持ちと戦わなくてはなりません。そんなときに支えてくれるのが「仲間」であり「家族」であるということを実感できた運動会だったと思います。感謝の気持ちは相手の立場に立って考えられる優しさがあって持つことができます。

自分と仲間のよさを知る

子ども達は大きく成長しましたが、当の本人はそのことにはなかなか気付けないものです。そこで頑張りや優しい姿をクラスの仲間や担任、家族がきちんと価値付けることで「自分」や「仲間」の良さを自覚するようになります。自分や仲間の良さを認識することで、以前よりも、もっと自分や仲間のことを好きになってくれることを期待しています。